

季節性インフルエンザ&新型コロナワクチン 予約受付中

亀田クリニックでは、10月17日(月)より3階特設会場にて季節性インフルエンザワクチンの集団接種と、オミクロン株対応新型コロナワクチンの接種(金曜日のみ)を行います。当院では同時接種は行っていないのでご注意ください。

接種はそれぞれ**完全予約制**です。予約は電話とWebから受け付けています。対応する電話番号が異なりますので、ご希望のワクチンの種類と日時をよくご確認ください。お早めにご予約ください。



	インフルエンザワクチン	新型コロナワクチン
接種日程	月～木、土曜日 14:00～16:00	金曜日 14:00～16:00
対象	生後6ヶ月以上のすべての方 (生後6ヶ月～12歳は2回、13歳以上は1回接種)	18歳以上で追加接種の方 <使用ワクチン>モデルナ社ワクチン
費用	4,000円(税込) / 1回 ※お住まいの自治体により助成制度あり	無料
電話予約	04-7099-1111 8:00～17:00(日曜・祝日除く)	04-7099-1330 (金曜日 14:00～16:00) ※接種券一体型予約票が必要です

のぼり NOBORI 医療費後払い機能

次回から
会計に並ばず
帰宅できます

1 アプリをダウンロード



医療機関は
「亀田クリニック」
を登録

2 アプリの「設定」→「医療費後払い設定」からご登録 ※クレジットカードが必要です

3 ご利用の際は、診察前に各受付窓口にお申し出ください ※画面の提示をお願いしています。スマホをご用意ください

詳しい使い方は

<https://nobori.me/help/list/>

設定などで分からないことがありましたら、Kタワー1階インフォメーションにお尋ねください。

※ご受診の内容によってはご利用いただけない場合があります。あらかじめご了承ください。

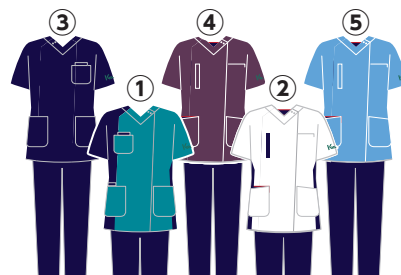
コメディカル

一部ユニフォームを一新

9月より、看護部PSA(看護補助)等、薬剤部、臨床検査室、リハビリテーション室のユニフォームが新しくなりました。

これまでのポロシャツやトレパンからスクラブタイプに変更され、より活動的に、快適に仕事ができるようなデザインになりました。

看護部PSAは
①、薬剤部は②、
臨床検査室は③、
リハビリは③・
④・⑤の3色。



地域連携小児夜間・休日診療について

当院では、地域の小児科の先生方と連携を取り、夜間や休日で小児の急病の場合に常時診療可能な体制を整えています。受診される際は、事前に代表番号(☎04-7092-2211)まで、電話連絡をお願いいたします。

<診療>・平 日 夕方18:00～朝8:00
・土曜日 昼12:00～夜24:00
・日曜日・祝日 終日





漢方のチカラ

東洋医学診療科 南澤 潔

第11話 漢方薬は“調味料”？

前回、漢方には「本治」と「標治」という2つの顔があるというお話をしました。本治では、漢方的な視点から見た患者さまの状態を変えていく「ツール(手段)」として、種々の漢方薬を使います。この場合の漢方薬は、言ってみれば素材を最高に美味しくするためにシェフが使う調味料のような存在です。



ときどき「この漢方はどういう効果の薬ですか？」と聞かれることがあります。標治では「これは〇〇の漢方薬です」と明確に答えやすいのですが、本治では答えに窮することが少なくありません。漢方的な診断は、陰陽虚実、六病位、気血水、五臓などの多様な評価軸が入り組んでおり、本治ではこれらを最適化する目的で漢方薬を使うわけですので、難解な解説にならざるを得ません。

また処方された漢方薬をネットで調べる患者さまは多いでしょうが、調べてみたら子供の夜泣きの薬だったとか、自分は男なのに女性向けと書いてあったとか、自分が治したい症状とぜんぜん違う病名が並んでいたなどなど、「あの先生間違っって処方したんじゃない？」と疑心暗鬼になることもあるようです。本治ではそのような通常の薬の解説からすると理解できない処方が出るのがしばしばあります。一般的な漢方の適応症や効果は、現代医学のシステムに漢方を組み込むために便宜的に決められた標治的な効果や病名のみで、長い間に積み重ねられた経験知のほんの一面にすぎません。

漢方薬の作用というのは非常に多岐にわたり、幅広いものです。例えば「醤油ってなに？」と聞かれたらど

う答えるでしょう？「刺し身や寿司につける黒っぽい液体調味料」というあたりが無難な答えですが、寿司だけでなく煮物や焼き魚にも欠かせないし、蕎麦や天ぷら、TKG(卵かけごはん)にも必要ですよ。時にはフランス料理の隠し味にも使われるようで応用範囲は無敵大です。漢方薬も本治ではそういう使われ方をします。

さて、漢方の真価である本治を受けるには、当科のような専門科を受診していただく必要がありますが、標治的な使い方でも十分に効く、便利な漢方薬がいくつもあります。

有名などころではこむら返りに著効する芍薬甘草湯。カタカナの名前で市販されていてテレビCMもよく見かけます。余談ですがあの製薬会社さんはいろいろな漢方薬をキャッチーな名前で販売していて、なかなか商売上手だなあと感心しています。

漢方薬は標治的な使い方ではしばしば即効性で、世間で言われている長く飲まないと効かないというのは正しくないのですが、なかでもこの芍薬甘草湯は医師も驚いてしまうほどの即効性で、飲むと数分で良くなるといえます。頻繁にこむら返りを起こす方は、起こりやすい時間帯の前に内服しておくとういようです。多くは寝ているとき、特に明け方に起きるのではないのでしょうか？その場合は寝る前に飲んでおくというわけです。ただ、たくさん取りすぎると浮腫んだり血圧が上がる副作用が出る方がいらっしゃるの、毎日飲むなら寝る前に1回程度にしたほうが安全です。

一方、お子さんに多いウィルス性の嘔吐下痢や、天気が悪くなる前にいつも頭が痛くなる、という方方は五苓散という薬を試してみるといいですね。これもカタカナ名でドラッグストアでも売られています。成分に桂皮(シナモン)が含まれているのでシナモンアレルギーのある方は要注意ですが、あまり副作用の心配がない漢方薬で、二日酔いにも実によく効きます(だからといってお酒を飲みすぎるのは禁物ですが)。

漢方的な考え方では水毒という、水の代謝を改善する薬で本治でもしばしば活躍します。



医療エッセイのバックナンバーは下記よりご覧いただけます

<http://www.kameda.com/ja/general/about/magazine/index.html>



医師紹介

くぼ こうすけ 医師
久保 宏 介

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①整形外科 部長
- ②関節外科全般、人工関節置換手術
- ③歴史書、旅行
- ④患者さまの生活スタイルに合わせた治療を、よく相談のうえ提案させていただきます。関節の痛み、悩みを一緒に乗り越えましょう。お気軽に相談ください。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>